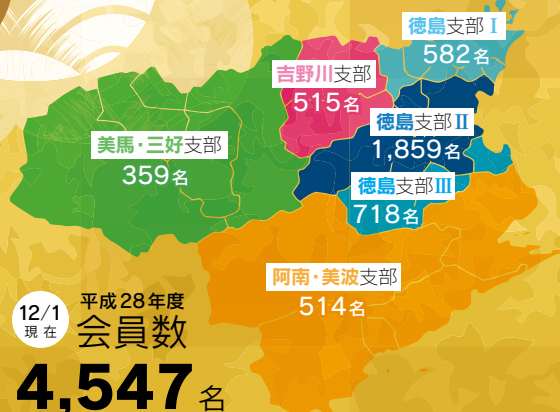


No.

86



12/1 平成28年度
現在 会員数
4,547 名



(スマートフォン対応)

■ CONTENTS

会長挨拶	2
知事要望	2
平成28年度 秋の叙勲	2
職能委員会活動報告	3
支部活動報告	4
認定看護管理者に聴く	6
ワークショップ開催	8
第34回徳島県看護学会報告	8
ナースセンターだより	9
ワンポイントアドバイス No.30	9
各お知らせ	10
編集後記	10

年頭挨拶

平成29年



会長 森山 節子

明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのことと存じます。日頃から会員の皆様には看護協会活動推進に大きな力でご協力いただき感謝申し上げます。

2025年に向けた「看護の将来ビジョン」の具現化に取り組み3年目となりました。今までの事業の継続と更なる充実・発展するよう29年度の事業計画を年末から鋭意検討を進めています。

昨年は長年懸案だった徳島県内での認定看護師教育課程の設置が決まりました。徳島文理大学 地域連携センターに糖尿病看護認定看護師教育課程が設置認定されました。今年5月の開講です。徳島県が検討会を起し設置に向けて議論してきましたが、当大学の地域連携センターがこれからの看護のあり方を見据えて開講に踏み切っていただきました。今後、県や関係機関と連携し看護協会・看護職一体となって地域医療の充実に向けてしっかりと協力・支援していきたいと思っています。

また、11月15日には徳島県知事面会に理事5名で参りました。徳島県看護協会の重点事業であります①訪問看護提供体制の整備と②看護人材確保策の強化について、29年度から一步発展させた取り組みについて提案させていただきました。知事からは「地域包括ケアシステム」を整えるため「ありがたい話」と賛同いただきました。いつもながら飯泉知事はじめ保健福祉部医療政策課の方々にはこのような貴重な機会を与えていただき有り難く本当に感謝しているところです。

昨年10月から新会員管理体制（ナースシップ）運用が開始されました。全国的に大規模なシステムを動かしているの、課題も多々ありましたがクリアしながら進んでいるところです。徳島県の会員数は4547名です。わずかに増員していますが、今年度の目標4,600名は達成できませんでした。是非今年は加入率アップに向けて会員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。ご協力よろしくお願い致します。

徳島県看護協会は「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」を皆様とともに取り組みを進めていきます。今年も元気で頑張りましょう。

2017年も看護協会の「和」が広がり、皆様にとっても夢や希望が叶えられる幸せな一年となりますようにご祈念申し上げます。

知事要望

公益社団法人
徳島県看護協会

- 1 長期療養の生活者を支える訪問看護等提供体制の整備
- 2 看護人材の確保のためのナースセンターの機能強化
- 3 看護職の労働環境の整備の推進
- 4 少子超高齢化社会に対応する人材育成



受章おめでとうございます

平成28年度 秋の叙勲



瑞宝双光章

木田 菊恵 様

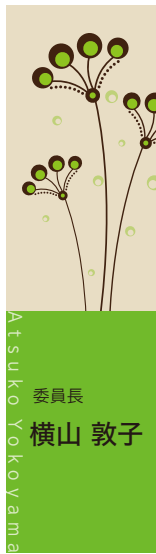


瑞宝単光章

栗本 敬子 様

活動報告

専門性の高い
保健師活動を目指して



保健師職能委員会

専門性の高い保健師活動を目指して、経済成長の鈍化と少子超高齢社会の中で、少子化対策、医療、介護、年金の4分野において改革の方向性が示されています。特に、医療と介護の総合的な取り組みとして、「地域医療構想ならびに医療計画策定」、「地域包括ケアシステム」の構築が推進され、保健師は地域診断によるヘルスニーズの把握、自助・互助を育む活動、医療や介護の必要に迫られる前の予防活動など、幅広い分野で様々な保健活動を展開することが求められています。保健師職能委員会ではこのような時代の要請に応じた専門的な保健活動を行うために、研修会や職能集会を開催しています。

今年度は、個別事例について学ぶ「保健師スキルアップ研修会」、災害支援活動について若手保健師が語る「若手保健師ランチミーティング2016」、助産師職能委員会と連携した妊娠出産育児の切れ目のない支援についての研修会、「創ろう！使おう！私たちのキャリアラダー」をテーマとした職能集会を計画しております。これらの活動を通して、保健・医療・福祉・介護等の多分野が協働できる保健活動を目指して行きたいと思っております。是非、皆様の参加をお待ちしております。

活動報告

助産師の役割は
「母子とその家族を
守ること」

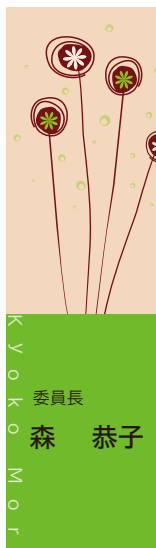


助産師職能委員会

日本看護協会助産師職能委員会は、①全ての妊産褥婦と新生児に助産師のケアを提供すること②妊産褥婦と新生児、家族の健康な生活の実現に貢献すること③全国の助産師の力を結集し変革を続けること、以上の3つの基本理念に基づき活動しています。また、本年度からは災害時における周産期医療ネットワーク体制の現状把握、母子支援対策の整備についての取り組みをスタートしています。それを受け徳島県でも助産師のネットワーク体制を整えることが「母子とその家族を守ること」に繋がると考え、委員を中心に現状把握、支援対策の整備に取り組んでいます。また、助産師のケア力アップのため助産院院長である原田美佐子先生を講師にお招きし、「骨盤ケア」研修会を開催しました。妊産褥婦さんに対して個別的に骨盤ケアを行い支援していくことが大切であることをお話していただきました。2017年1月には、保健師さんと合同で研修会を開催します。母子保健対策としての取り組みをお話して頂き、現状を把握、課題を明確化し今後の取り組みへと繋がるような研修を実施したいと考えていますのでぜひ、ご参加ください。

活動報告

看護の専門性の強化と
質の向上を目指して



看護師職能委員会

日本看護協会看護師職能委員会Ⅰ病院領域では、2025年に向けて、病院で働く看護職による在宅療養支援や看護師のキャリア等に関する取り組みを行っています。看護師職能委員会Ⅱ領域では、在宅・施設等の長期療養者を支える看護の機能と看護管理者のあり方及び特養・老健等の介護施設においてリーダーシップとマネジメントスキルを発揮できる看護管理者の確保・育成策の検討を行っています。

看護師職能委員会では、今年度、「認知症患者を支える」をキーワードに、「地域における看取りの体制づくりと連携～人生のハッピーエンドを支える～」と題して上勝町診療所所長木下英孝先生をお迎えして研修会を開催しました。2月25日に予定している交流会では「認知症高齢者を支えていくための現状と課題」というテーマでシンポジウムを予定しています。「看護師クリニカルラダー」の理解と活用推進のための情報提供も継続して行っていきたいと考えています。今後も、様々な職場で働く看護師の専門性の強化や質の高い看護の提供を支援するために活動していきたいと考えています。

支部活動報告

徳島支部Ⅰ

支部長 日野出 裕美

徳島支部Ⅰ（鳴門・板野地区）では、地域住民の健康増進、福祉の向上を図るために徳島支部Ⅱと協同で、毎月第2・4土曜日に県立図書館において常設の「まちの保健室」を開催しています。

また、地域で行われる「子どものまちフェスティバル」等のイベントに参加させていただき、『一日まちの保健室』や『ナースに変身コーナー』を設け、地域住民の方々や子ども達とのふれあいを通して地域看護サービス（イベント事業）の活動を行っています。

施設交流会においては参加施設も少しずつ増加し、施設間での情報共有やよりよい支部活動に向けて



の話し合い等、顔の見える関係づくりを通して地域連携強化の場ともなっています。

看護の出前授業では、看護職が地域の小中学校に出向き、『いのちの大切さ』や『看護職の仕事』などのテーマで授業を行っています。

今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



徳島支部Ⅱ

支部長 原 良江

日頃より支部活動にご支援ご協力を頂きありがとうございます。

徳島支部Ⅱは、徳島市、名西郡、佐那河内村と広範囲な地域を担当しています。

平成28年度の主な事業です。

■「施設交流会」は年4回開催しています。

第1回目を6月に開催し、8月・10月と3回終了しました。施設交流会は、常に18施設・20人位の参加者があり、地域住民の健康増進・福祉の向上を図るため、各種支部事業や各施設の様子など活発な意見交換が行われます。

■常設型「まちの保健室」では、徳島支部Ⅰと協力し、徳島県立図書館1階において毎月第2・第4土曜日13時～16時に開催しています。

子どもからお年寄りまで、住民の誰もが性別・世代を問わず、出産・子育て

で・病気・心の健康・生活習慣病・介護など健康にかかわる気になることや心配ごとなど気軽に誰もが相談でき、気軽に立ち寄れる場所です。血圧測定、健康相談、子育て相談、ストレス度チェック等を行っています。

■イベント事業として「一日まちの保健室」を年2回の開催を予定しています。「一日まちの保健室」の活動を通して地域住民の方々の健康づくりに務め、専門職として地域活動への参加により、地域との連携を深めて行きたいと考えております。

今年度は、老人クラブの集まりに出前講座として血圧測定や健康相談を実施しました。

■出前授業として中学校、高校等の生徒を対象に看護師・助産師が申し込みのあった学校に出向き講義を行います。講義内容は「命の大切さ」「看護の仕事について」「看護への道」など学校の希望する内容の講義を行っています。

私達は、地域住民一人一人の近くに看護職がいることで安心でき、健康に過ごすことを共に考える活動を実践していきたいと取り組んでいます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



「一日まちの保健室」



「一日まちの保健室」

徳島支部Ⅲ

支部長 松崎 和代

徳島支部Ⅲ（小松島市・勝浦郡）では、地域住民の方々の健康増進をはかるため、地域に密着した事業を推進していきたいと考えています。年三回の施設交流会では、顔の見える関係を大切にし、施設間の交流・情報交換を積極的に行っています。

イベント事業として、5月12日（木）にショッピングセンター「ルピア」で

「一日まちの保健室」を開催しました。血圧や体脂肪測定、健康年齢測定、骨密度測定等の健康チェックや健康相談と共に、身近なものを使っての応急処置と防災グッズの紹介をしました。本事業は毎年好評であり、延べ443名の方が参加されました。地域の方々に看護職を身近に感じ、活動の理解を深めていただく良い機会となっています。

また、阿南・美波支部と協力して、常設「一日まちの保健室」を第2・4土曜日にショッピングプラザ「アピカ」で開催しております。今年度から、専門看護師や認定看護師も相談員として参加し、看護職の専門性を活かした健康相談を実施しています。

小学校からの依頼のあった「看護の出前授業」では、「命の大切さ」や「看護の仕事」をテーマに話し、

看護師の大切にしているものを伝えることができました。

今後も、看護職と地域をつなぐ事業を展開できるよう努めていきたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



阿南・美波支部

支部長 千田 幸代

吉野川支部

支部長 武田 昌子

美馬・三好支部

支部長 美馬 敦美

日頃より支部活動にご理解、ご支援いただきありがとうございます。

阿南・美波支部は阿南市、海部郡、那賀郡の地域を担当し、年間の事業計画に沿って地域に密着した活動を行っています。

現在までの支部活動としては、徳島支部Ⅲとの合同でアピカにおける“南部まちの保健室”を開催しています。6月より県の薬剤師会の方により“お薬相談”も同時に開催し、健康相談、血圧等の測定や薬剤師さんからお薬に

ついて話を聞くことができるようになり、参加された方より好評を得ています。

また、7月7日に第1回施設交流会を開催いたしました。また、第2回施設交流会も11月15日に開催し、施設間の交流も深めました。

第1回イベント事業として、7月16日に“男女共同参画 IN 阿南 2016”

でまちの保健室を開催しました。講演の合間などを利用し59名の方に利用して頂きました。第2回のイベント事業として11月には阿南市羽ノ浦町の健康まつりでまちの保健室を開催しました。

今後も地域に根差した活動を展開していきたいと考えています。どうぞご協力程、よろしくお願いいたします。



吉野川支部は吉野川市と阿波市を担当し、事業計画に沿って活動をしています。吉野川支部活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

施設交流会は3回/年の開催を計画しています。理事会報告を始め支部運営の話や施設の情報交換等しながら顔の見える交流をしています。

常設まちの保健室はキョーエイ協町パルシー店の入口で実施しています。身近な健康相談の場となり、毎回利用してくれる方もいます。

イベントとして一日まちの保健室を平成28年11月6日(日)に、阿波市交流防災拠点施設「アエルワ」の文化祭会場で実施しました。健康・栄

養・糖尿病・訪問看護等の相談コーナーの設置を行い、体脂肪や骨密度、酸素飽和度、血圧等の測定をしました。延べ391人の人が利用してくれました。「毎年楽しみにしている」と言っていただきました。また、平成28年11月26日(土)『看護の心をみんなのところに』をテーマに吉野川医療センターで思春期講座を開催しました。

支部・3職能合同研修会では認知症をテーマにご案内をしました。高齢者の入院患者が増える中、

認知症を伴う人も増加しており現場では苦慮することも少なくないと思います。今後、少しでも看護ケアを提供するうえでの一助となることを期待しています。

これからも、看護職の専門性を活かした活動を通して地域住民の健康増進・福祉の向上に努めていきたいと思っていますので、ご協力をよろしくお願い致します。



美馬・三好支部では、地域住民の健康増進・福祉の向上を図るために、地域に密着した事業の提供を行っています。

施設交流会は、年に3回開催しており、各施設から参加し、イベントの開催計画や情報交換を行うなど意見交換の場となっております。常設「まちの保健室」は、血圧・体脂肪測定、健康相談を実施しています。また、三好市社会福祉大会に参加し、ささえ合うネットワークづくりをめざし、健康相談を実施しました。

各高校の文化祭では、保健展にて、看護コーナーを設け、進路相談や、血圧測定の体験を通して看護師の仕事

について考える場となり好評でした。今年度は、出前授業として、依頼のあった小学生や中学生に「いのちの大切さ」「看護師の仕事」について、授業を行い子供達とふれあう有意義な時間が持てました。

今後も、専門職として、地域住民の方々の健康づくりに貢献したいと思いま

すのでご協力よろしくお願いいたします。



認定看護管理者

に 聴 く

認

定看護管理者は、病院や介護老人保健施設などの管理者として必要な知識を持ち、患者・家族や地域住民に対して質の高いサービスを提供できるよう組織を改革し、発展させることができる能力を有すると認められた看護師であり、日本看護協会が認定しています。

今回、県内の認定看護管理者の皆様にお話を伺いました。
(公益社団法人日本看護協会認定看護管理者登録番号順に掲載)



日本赤十字社
徳島赤十字ひのみね総合療育センター
看護部長

森 恭子

平成22年に認定看護管理者になり、平成27年10月に一回目の更新を終えました。障がい者施設で認定看護管理者として、施設理念のもと、施設入所及び地域で生活されている利用児者の皆様のニーズに目を向け、障害があっても、その人らしく自立した生活を送り、尊厳をもって人生を全うすることができるよう支援するとともに、職員一人一人がやりがいを持って働き続けられる職場づくりと人材育成に努力していきたいと考えています。



日本赤十字社
徳島赤十字病院 副院長兼看護部長

庄野 泰乃

私たち看護職は人の生死に関わる職業として、日々の仕事に馴れず、奢らず、常に自分を律することが大切です。ダニエル・F・チャプリンスは「ケアの向こう側」という本の中で、「病院には依然として他の組織と大きく異なる決定的な要素がある。そこでは日常の一部として人々は苦しみ、死ぬ。これは尋常ではない」と述べています。つまり、病院は一般社会とは全く異なるシステムを持っており、それを忘れてはいけないということです。医療人また看護職として、倫理的感性を磨き、信頼される看護職を目指しましょう。



地方独立行政法人
徳島県鳴門病院 看護局長

日野出 裕美

2011年に認定看護管理者として認定を受け、1回目の更新を終えたところです。
看護管理について学習したことを踏まえて、労働環境の整備や人材育成、医療の質向上のための取り組み等に日々試行錯誤しながら、取り組んでおります。施設内のケアのみならず、「生活の質」を維持し、住み慣れた地域で療養できるよう、さらに地域へと目を向け、多職種・他施設とも連携を深め、地域完結型医療に貢献していきたいと思っています。



徳島県立中央病院 副院長

郡 利江

私は、医療品質管理担当副院長として、組織横断的に医療の質の向上に取り組んでいます。患者満足度向上のための業務改善、QI活動など多職種と協働し様々なチャレンジをおこなっています。地域包括ケアシステムが推進される中、今後は地域のスタッフの皆さんと協働し、患者さんやご家族が安心して在宅療養が送られるように切れ目のないケアの実践に貢献したいと考えています。「一歩踏み出す勇気があれば、きっと何かが始まる」は私の好きな言葉です。



独立行政法人国立病院機構 徳島病院
看護部長

谷本 りえ子

私は自分のキャリアプランについては全く無頓着で、上司に勧められるままに管理職のコースに進みました。お陰様で職員の成長過程を見る喜びや育成する充実感を体験することができました。自分の管理能力不足に苦悩した時期もありましたが、多くの方に支えられて今があります。若いみなさんは看護師としての未来予想図を描き、計画的に歩き続けて欲しいものです。看護師という職業を選択した人が幸せな人生であって欲しいと心から願っています。



独立行政法人国立病院機構
東徳島医療センター 看護部長

高須賀 久美子

当院看護部では、「患者ひとり一人がその人らしく大切にされていると実感できる看護」をめざしています。これは看護の質の追求になると考えていますが、そのためには、キャリアアップの段階に応じて自律的判断ができる看護師の育成が必要だと考えています。看護協会のクリニカルラダーを基に国立病院機構でもキャリアラダーが作成されました。「理論と技術をもって実践し看護を創造する」看護師の育成により力を入れていきたいと思っています。



徳島県立中央病院 看護局 次長

岸本 小百合

『ゴーイングコンサーン』組織が組織としてあり続けること、管理的立場になって改めて重く受け止めている言葉です。看護の質と経営を考えながらの運営の中、現場でいる看護師は重要な役割を担ってくれています。ラウンド時、車椅子の患者さんに顔を近づけて「大丈夫？」と優しく声をかけている姿に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も中央病院が組織としてあり続け、その役割と責任を果たしていけるよう取り組んでいきます。



徳島健康生活協同組合 組合看護部長

松浦 智恵美

看護部門は教育体制も指揮系統もしっかりしていると、他分野から言われる事がある。それは、法人内で一番職員数の多い部門であり患者へのケアに責任を持つ部門であるからだと思う。ゆえに、職員も患者・利用者も流動的であることを忘れずに、見直しをシステムのかつ客観的に行う必要がある。管理者として自分自身大切にしている事は「人」に寄り添い、マクロ的とミクロ的な視点を持ち柔軟な組織構築を図る事だと考えている。



徳島県立中央病院 看護局 次長

松川 恵美

2014年に東京都清瀬市の看護研修学校で「サードレベル」を受講し、2015年に認定看護管理者の資格を得ました。研修学校では、看護部長・副部長・師長の立場である受講生26名が看護管理を学びました。研修中にいつも指導者から言われていたことが、「管理者は、指示を待たず自分で考え自分で決定する。研修後の成果を出す。」でした。

看護局次長として局長の補佐はもちろんのこと、安心して任せられる専門職としての看護師の育成と、働き易い職場環境を整えたいです。



徳島県立三好病院 看護局長

美馬 敦美

三好病院看護局長として、認定看護管理者として「やさしい看護」「やさしい地域づくり」を目指して取り組んでいます。

日常では、「明るく、元気に」をモットーにできるかぎり現場に足を運んでいます。そして常に学ぶ姿勢を持つよう心がけています。また、サードレベル研修で学んだ同期生とのネットワークを活用し、情報交換を行っています。

三好病院では、「認知症ケアサポートチーム」を立ち上げ活動を開始しました。今後は、地域との交流を深め、情報を共有し、地域住民が安心して暮らし続けられる社会の構築に向け、積極的に取り組んでいきたいと考えています。



徳島県立中央病院 看護局長

石川 和恵

本年度認定審査に合格し、認定看護管理者の資格を得ました。昨年のサードレベル教育課程から今年5月の認定審査までの期間は、「頭を抱えてマネジメントの勉強に励む」という大変有意義な時間を過ごす事ができました。教育機関では、地域包括ケアシステムを構築し推進していくために、いかに考え行動するか、繰り返し問われました。保健・医療・福祉体制変革の時代、先を読み柔軟に対応できる管理者を目指し、自己研鑽を続けます。

学校法人四国大学
看護学部 看護学科 看護学研究科
教授

橋本 茂

昨夏、2度目の更新審査を終えることができました。管理学で得たものは、管理に必要な人的ネット

ワークと、事象について理論に基づき対処できる能力です。私は、管理学は看護管理者だけでなく、全ての看護職に必要な学問であると考えています。質の高い看護は人・物・金が効果的に管理されています。つまり看護の質保証は、全ての看護職が従来の経験的管理だけでなく、理論に基づいた科学的管理を実践することにより成されます。看護を担われている看護職の皆さんに是非系統立った管理学を勉強していただきたいと思います。

看護職のワークライフバランス(WLB)推進

ワークショップ開催

勤務環境改善推進委員会

平成28年
9/25

9:00~16:00

～協立病院・碩心館病院・小川病院いよいよ始動へ～

徳島県看護協会の重点事業である、「看護職のWLB推進ワークショップ」は、今年度で6年目を迎え、15施設が勤務環境改善に取り組んでいます。

まず現状把握から課題を抽出し、改善策の検討と進めていきますが、今年度は、どの施設も第一段階の現状分析が、インデックス調査(定量的アプローチ)からだけでなく、スタッフの要望やニーズ(定性的アプローチ)からも討議され、様々な視点から分析できました。貴重な声がアクションプランに反映されることが期待されます。

また、支援体制として、徳島労働局雇用環境均等室の監理官や補佐、県医療政策課課長補佐、社会保険労務士の方がたにご参加いただき、専門的な立場からのご意見をいただきました。アンケート結果からも、「見えなかった部分の気づきをアドバイスいただいた」「色々と見直し改善できることを楽しみにできます」等意見がありました。

この取り組みは、H29年2月4日(土)WLB推進フォローアップワークショップで発表します。是非ご参加いただき、貴施設の勤務環境改善の参考にしてください。



討議



KJ法で分析



発表

参加者
42名

報告

第34回徳島県看護学会

看護会館

第34回徳島県看護学会が12月3日(土)に開催され口演13題、示説9題の発表が行われました。学会には225名の参加があり、看護技術に関するもの、災害対策やPNS(Partnership nursing system)に関するものなど多岐に渡る各施設での取り組みに関する発表がなされ、活発な意見交換が行われました。

特別講演には、神戸市看護大学 看護学部 専門基礎科学領域健康科学分野の加藤憲司准教授をお招きし、「量的看護研究の進め方 ～臨床で役立つ質問紙調査の方法～」についてご講演頂きました。調査研究の一つである量的調査(質問紙調査)の方法についての基礎をわかりやすく説明して頂きました。今回研究発表された方々をはじめ、看護研究に取り組まれている各々にとって、研究の進め方を振り返る機会になったと思います。また、これから看護研究に取り組もうとしている方々にとっても、大変参考になる有意義な講演となりました。

今回の発表演題や特別講演での学びや刺激を参加された方々が各施設に還元され、徳島県の看護研究の更なる発展を期待したいと思います。





ナースセンターだより

(H27.10.1～H28.9.30)

☆看護職届出制度

右の表は届出者のうち、eナースセンター登録・応募・就職状況です。離職時はナースセンターへ届け出てください。

届出・eナースセンター登録・応募・就職	全 国		徳島県	
	総 計	割 合	総 計	割 合
届出数	32,294		281	
うちeナースセンター登録者数	12,951	40.1%	139	49.5%
うち求人施設への応募者数(紹介数)	2,280	7.1%	48	17.1%
うち就職者数	1,874	5.8%	47	16.7%

☆就職ガイダンス

看護職の求職者や看護学生が看護職を必要とする施設の見学をし、施設の概要や業務内容等を知ることにより、就職意欲を高めてもらうガイダンスを開催。

求人施設も現場で求職者に施設を紹介することは、メリットがたくさんあります！

徳島県ナースセンター出前就職ガイダンス2016

本年度も出前就職ガイダンスを実施しました。西部圏域に16名、南部圏域に23名、延べ39名の参加がありました。

●参加施設一覧《実施順》

西部：11/12 鴨島病院 三加茂田中病院 三野田中病院
特別養護老人ホームケアプラザみま 秦眼科

11/29 特別養護老人ホーム永楽荘 吉野川医療センター
(独)国立病院機構徳島病院 美摩病院

南部：11/17 徳島赤十字ひのみね総合療育センター 江藤病院 原田病院 岩城クリニック

11/26 那賀町立上那賀病院 (公社)徳島県看護協会 訪問看護ステーション阿南・海部
小松島病院



オープンホスピタル2016

前年度、好評だったオープンホスピタルを今年も開催しております。2016年12月～2017年2月に合計16施設で行われています。

●開催日程一覧《実施順》

12/1 亀井病院 12/5 中洲八木病院 12/7 芳川病院 12/10 手束病院 12/16 沖の洲病院
12/19 徳島健生病院 12/21 リバーサイドのぞみ病院 12/22 吉野川病院 1/12 松永病院
1/19 リハビリテーション大神子病院 1/26 TAOKA こころの医療センター 1/27 たまき青空病院
2/2 博愛記念病院 2/16 東洋病院 2/20 城南病院 2/24 稲次整形外科病院



2回チャレンジルールとは？

相手が気づいていない情報を提供
正しい判断を促す業務支援ツール



例えば

Dr:「A患者のカリウムのデータが低いからただちにKCL20mgを2アンプルメインの輸液に混注してください」

Ns:「はい！KCL20mgを2A、計40mg混注ですね(復唱・確認)」
患者の輸液残量見て、「200mlしかないわ」

Ns:「残量が200mlしかないで補正するには40mgは多すぎるのではないですか？不安です」

Dr:「……………」

Ns:「このオーダでは高カリウム血症になる可能性があり危険だと思います。指示の変更をお願いします」

Dr:「じゃ、もう一度検討してみます」

**「一度目の問いかけが、聞きいれられなかった時」
もう一度「2回目の問いかけ」を**

社会経済
福祉委員会

火災や風水害等に遭われたとき

次の区分により見舞金が支給されます。

区 分	被災の程度	見舞金の額
火災の場合	家屋全焼	30,000 円以内
	家屋半焼	20,000 円以内
風水害及び震災の場合	家屋全壊	30,000 円以内
	家屋半壊	20,000 円以内
	家屋傾斜、床上浸水	10,000 円以内

※詳細については、公益社団法人徳島県看護協会例規集をご参照ください。

ご存知
ですか??

徳島県訪問看護支援センター

徳島県訪問看護支援センターは、徳島県から医療介護総合確保基金の補助を受け、平成28年度も多くの事業を展開しました。その一部を紹介いたします。詳しくは、センターのホームページをご覧ください (<http://tokushima-houmon-kango.jp/>)。

〈今後の事業予定〉

どなたでも無料で参加できますので、関心のある方はどうぞお越しください。

在宅ケアアドバイザー派遣事業報告会

日 時：平成29年1月28日(土) 10時～12時

場 所：徳島県看護会館

内 容：平成28年度の新規事業として、県内の専門看護師・認定看護師を希望のあった訪問看護ステーションに派遣して、ケアに関する助言を受けました。助言をした看護師と助言を受けた看護師双方から報告をします。

「訪問看護を取り巻く制度と政策」講演会

日 時：平成29年2月18日(土) 13時30分～16時30分

場 所：徳島県看護会館

内 容：日本訪問看護財団常務理事の佐藤美穂子先生をお迎えし、医療保険や介護保険に関する最新の情報の講演を開催します。

〈事業報告〉

平成28年度訪問看護普及フォーラム

平成28年10月8日(土) ふれあい健康館(徳島市)で開催しました。173人の参加がありました。

基調講演

テ ー マ 「地域で自分らしく暮らそう」

講 師 NPO法人「このゆびとーまれ」理事長 惣万 佳代子 氏

パネルディスカッション

テ ー マ 「二人にひとりがガンになる時代

最期まであなたを支えます」

パネリスト 鬼頭 秀樹 氏 那賀町立上那賀病院 病院長
 伊勢 佐百合 氏 北常三島調剤薬局 管理薬剤師
 吉野 牧子 氏 あおぞら内科訪問看護ステーション管理者



平成29年度会員募集中!!

看護職の成長のために、共に活動しましょう!

「平成29年度継続申請書」はもう提出されましたか?

まだ提出されていない方は、お早めにご提出ください。

まだご入会されていない方は、お誘い合わせのうえ、この機会にぜひともご入会ください。

お知らせ 平成29年度より会費納入方法を選択できるようになりました。

- 口座振替を選択された方は、平成29年1月27日(金)にご指定の口座より引き落としとなります。
- 勤務先で取りまとめて納入を選択された方は、施設代表者にご確認ください。
- 個人会員の方で、銀行振込・コンビニ収納を選択された方は、ご自宅に届いた「払込票」でお支払いください。

詳しくは、徳島県看護協会ホームページ「入会案内」をご覧ください。

編集後記

明けましておめでとうございます。

協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

今後とも、よろしくお願いいたします。(広報出版委員一同)

お詫び

No. 85掲載、看護師職能集会Ⅰ記事掲載者が、「看護師職能委員長」となっておりましたが、「看護協会会員」の誤りです。お詫びして訂正します。